

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 人権・文化国際課		担当課長名	上松 弘子
(※)第2期実施計画の事業名	文化振興財団補助事業		財務会計上の事業名	文化振興財団補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5041	1	財務会計上の短縮番号	880
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第4節市民文化の創造		
	項目	項目1まちのミュージアム化の推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	まちの文化振興に寄与する事業が展開されることにより、市内外からの集客につなげる。
事業の対象 (誰を、何を)	一般財団法人いけだ市民文化振興財団
事業の手段・方法 (どのように)	本財団の文化振興事業に対して補助を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	一般財団法人いけだ市民文化振興財団補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		23,000		23,000		23,000		23,000		100.0%
主な 内 訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.13	962	0.12	912	0.16	1,248	0.16	1,248	133.3%
内 訳	正職員	0.13	962	0.12	912	0.16	1,248	0.16	1,248	133.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		23,962		23,912		24,248		24,248		101.4%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	23,962		23,912		24,248		24,248		101.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市の出資団体に対する補助金であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	文化振興財団実施事業数	件	7	7	7	7	7
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由								
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	実施事業に対して安定した集客を得ている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	補助金の減額。(26,900千円→23,000千円)
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	令和元年度も7事業を開催予定。
現在抱える課題とその対策	課 題 対 策
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	安定的な事業実施を図ることができている。

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 人権・文化国際課	担当課長名	上松 弘子
(※)第2期実施計画の事業名	文化振興助成事業	財務会計上の事業名	文化振興助成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5042 1	財務会計上の短縮番号	875
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目2文化芸術活動の担い手の育成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	まちの文化振興の促進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	池田市民及び池田市民が構成する団体
事業の手段・方法 (どのように)	①申請のあった文化活動事業へ補助金の交付(文化振興補助金)。②文化・スポーツ分野で全国大会に出場・入賞するなど、顕著な成績をおさめた市民へ、市長から奨励金を交付(文化振興奨励金)。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29
事業費(千円)		1,305	1,143	997	1,100	87.2%
主な内訳	文化振興奨励金	401	543	697	600	128.4%
	文化振興補助金	900	600	300	500	50.0%
人件費(人・千円)		0.35 2,590	0.26 1,756	0.20 1,560	0.20 1,560	76.9%
内訳	正職員	0.35 2,590	0.21 1,596	0.20 1,560	0.20 1,560	95.2%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0.05 160	0	0	0.0%
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		3,895	2,899	2,557	2,660	88.2%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他(文化振興基金)	16	7	3	2	42.9%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		3,879	2,892	2,554	2,658	88.3%
一般財源比率 C÷A		99.6%	99.8%	99.9%	99.9%	100.1%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	功績のあった個人・団体へ、規定の金額を市が交付する趣旨であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	補助金交付件数	件	3	4	3	2	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	奨励金交付件数	件	18	20	27	20	20
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由								
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		申請から交付まで、問題なく対応できている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	申請者の増加を見越し、要綱等を整備して対応する。	
現在抱える課題と対策	課 題	申請者が年々増加しており、予算額を超えて対応が必要になっている。
	対 策	要綱を改正し、交付金額の見直しを図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	スポーツ・文化振興を奨励するため、継続して実施していく。東京オリンピック・パラリンピックを控えており、奨励金の交付件数は大幅な増加が見込まれる。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	武田 克彦
(※)第2期実施計画の事業名	市史編纂事業	財務会計上の事業名	市史編纂事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5043 1	財務会計上の短縮番号	5890
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3.ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	歴史資料の調査・収集・整理・保存・活用や、市史の配布・販売・活用を行い、将来の歴史編纂に備えるとともに、市民が池田の歴史を考察し、郷土に対する理解と関心を高めるための基礎を整える。
事業の対象 (誰を、何を)	歴史資料全般、池田市域の歴史、および市史
事業の手段・方法 (どのように)	・資料調査・収集・整理・保存および研究 ・市史編纂委員による保存活用方針などの検討 ・市広報誌・HP・チラシやポスター等によるPR ・レファレンスの対応 ・市史の配布・販売
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 5 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市附属機関条例第2条

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29
事業費(千円)		2,181	1,914	1,919	2,227	100.3%
主な内訳	報償金	995	813	798	902	98.2%
	印刷製本費	47	47	46	139	97.9%
	機器借上料	478	532	558	570	104.9%
人件費(人・千円)		3.48 15,092	2.33 9,906	2.30 9,658	2.15 8,554	98.7%
内訳	正職員	1.33 9,842	0.85 6,460	0.78 6,084	0.63 4,914	91.8%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0.62	1,984	0.66 2,112	0.66 2,178	106.5%
	非常勤職員	1.45 4,060	0	0	0	-
臨時的任用職員		0.70 1,190	0.86 1,462	0.86 1,462	0.86 1,462	100.0%
支出合計 A		17,273	11,820	11,577	10,781	97.9%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他(雑入)	134	76	42	75	55.3%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		17,139	11,744	11,535	10,706	98.2%
一般財源比率 C÷A		99.2%	99.4%	99.6%	99.3%	100.3%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	収集資料の整理や読解、市民を交えての市史のPRと普及活動
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	事業の性格上、専門性・公的性が要求されるため、あくまでも補完的な位置づけで、全面的な置き換えは難しい。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市史の刊行(累計)	冊	8	8	8
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	広報誌などへの市史編纂成果のPR	回	3	6	6	6	8		
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	収集資料の整理・保存(完遂度)	%	27	28	29	29	30		
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市史の販売価格改定(累計)	冊	0	0	0	0	8		
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果									
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		資料の調査・収集・整理、研修への協力、資料の中期的な保管場所の整備着手、歴史民俗資料館や公民館と連携しながらの編纂成果のPR準備、市史の価格改定の準備を進めることができた							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	指標である収集資料の整理・保存は着実に進んでおり、指標ではないが、市史の配布・販売、歴史民俗資料館との連携なども適宜進めることができた。効率性については、事業費は概ね横ばい(R元の増は80周年)であるが、業務のメインとなる資料調査・整理作業は専門性が高く、マンパワーででき細かく行う必要があり、現状でも遂行にあたっては必要最低限のため、さらなる改善は困難。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	市史編纂委員会委員として、H29の新規2名への委嘱に続き、H30に田中晋作氏(山口大学教授)を新たに委嘱した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市史編纂という、現代資料も含めた資料の体系的な調査・収集・整理・保存という普遍的な業務を核に、歴史民俗資料館との連携なども進めながら資料の活用も図っていく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	市史編纂で収集した歴史資料については体系的な整理、後世の市史編纂事業などに備えた永続的な保存・管理が必要。同時にHPなど、市民が情報にアクセスしやすい環境の整備が必要。
	対 策	当面の保管場所の整備に着手したところだが、その中で、長期、さらには永続的な一元管理に向けての課題を洗い出しながら、学校跡地などの利活用を検討・提言する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市の歴史を現在の施策に活かし、また後世に引き継ぐために、市史編纂という視点で、継続的に歴史資料を調査収集し、永続的に保存・管理していくことは市の責務である。今後、歴史民俗資料館との連携を進めながら、歴史資料や市史の普及・活用をさらに進める必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課		担当課長名	武田 克彦
(※)第2期実施計画の事業名	古文書・歴史資料調査事業		財務会計上の事業名	古文書・歴史資料調査事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5043	2	財務会計上の短縮番号	5892
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第4節市民文化の創造		
	項目	項目3.ふるさと文化の保護・醸成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の歴史の解明、および市史編纂のための基礎資料の整備、保存対策を図り、市民共有の財産として後世に伝えていく一助とする。
事業の対象 (誰を、何を)	市内に所在する古文書・歴史資料
事業の手段・方法 (どのように)	所在の確認、調査、受け入れ、整理、目録作成、撮影複写、および保存対策を施す。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第4条、池田市文化財保護条例第3条・第4条

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		170		170		170		171		100.0%
主な内訳	報償金	143		143		143		144		100.0%
	消耗品費	18		18		18		18		100.0%
	印刷製本費	9		9		9		9		100.0%
人件費(人・千円)		0.51	1,934	0.22	996	0.19	916	0.19	923	86.4%
内訳	正職員	0.11	814	0.08	608	0.08	624	0.08	624	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0.10	320	0.07	224	0.07	231	70.0%
	非常勤職員	0.40	1,120		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0	0.04	68	0.04	68	0.04	68	100.0%
支出合計 A		2,104		1,166		1,086		1,094		93.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,104		1,166		1,086		1,094		93.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	古文書・歴史資料の受け入れ・整理・調査
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	事業の性格上、専門性・公的性が要求されるため、あくまでも補完的な位置付けで、全面的な置き換えは難しい。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古文書・歴史資料の調査	件	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		着実に古文書・歴史資料の調査・保存に結びついている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	指標である古文書・歴史資料の調査の件数は横ばいではあるが、最低限の事業費で一定の成果を積み上げている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	収集資料の受け入れ・整理・保存	
現在抱える課題と対策	課 題	世代交代などにより、古文書・歴史資料の散逸が進む可能性がある。
	対 策	資料保存の重要性を発信・PRするとともに、古文書・歴史資料の所在の再確認を行い、より正確なリストの作成を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	古文書・歴史資料の散逸という現状がある以上、貴重な資料を少しでも後世に残すための一助となるよう、継続して取り組むべきと考える。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課		担当課長名	武田 克彦
(※)第2期実施計画の事業名	文化財保護事業		財務会計上の事業名	文化財保護事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5043	3	財務会計上の短縮番号	6660
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第4節市民文化の創造		
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	文化財の保護、調査、研究、活用
事業の対象 (誰を、何を)	市民、文化財
事業の手段・方法 (どのように)	文化財の調査、指定文化財の修理補助、説明板等の設置。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第4条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条、池田市文化財保護条例第3条・第4条など

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		57		66,365		5,058		4,672		7.6%
主な内訳	報償金	25		0		0		40		-
	消耗品	32		32		179		179		559.4%
	補助金			111		4,879		4,138		4395.5%
人件費(人・千円)		0.46	3,404	0.69	4,672	0.50	3,986	0.40	2,670	72.5%
内訳	正職員	0.46	3,404	0.56	4,256	0.40	3,666	0.30	2,340	71.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0.13	416	0.10	320	0.10	330	76.9%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,461		71,037		9,044		7,342		12.7%
財源	国・府支出金			38,000						0.0%
	地方債			24,800						0.0%
	その他()	5								-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,456		8,237		9,044		7,342		109.8%
一般財源比率 C÷A		99.9%		11.6%		100.0%		100.0%		862.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	補助金は受益者負担あり、補助率が確定している。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	文化財調査は文化財保護審議会等との協力を得て行なっている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	美術品、建造物の文化財調査。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	専門性の高い文化財調査機関への委託。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	指定文化財の修理補助	件	0	1	3	1	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	指定文化財説明板の取替え	本	0	0	1	1	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				予算の範囲内ではあるが、予定どおり進んでいる。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			補助事業により、文化財の修理ができ、文化財が守られ、所有者の負担も少なくなる。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成30年度は災害により、緊急修理があったが、今年度は予算通りの執行の予定であるため。	
現在抱える課題と対策	課題	市内には文化財が多くあるため、保存修理は必要と考える。
	対策	所有者との情報共有を密にし、保存修理が早急にできるようする。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	計画的に保存する必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	武田 克彦
(※)第2期実施計画の事業名	文化財公開展開催事業	財務会計上の事業名	文化財公開展開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5043 4	財務会計上の短縮番号	6670
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさと文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の文化財や郷土文化に対する理解と郷土愛の向上を涵養する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	指定文化財や史跡などを文化財保護審議会委員による現地解説つきで巡り、市民がさまざまな貴重な文化財に触れる機会を設ける。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第4条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条、池田市文化財保護条例第3条・第4条

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		40		40		35		40		87.5%
主な内訳	報償金	40		40		35		40		87.5%
										-
人件費(人・千円)		0.10	626	0.08	520	0.11	674	0.12	756	137.5%
内訳	正職員	0.08	592	0.06	456	0.07	546	0.08	624	116.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0.02	64	0.04	128	0.04	132	200.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.02	34		0		0		0	-
支出合計 A		666		560		709		796		126.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	666		560		709		796		126.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	文化財公開は、所有者と教育委員会との信頼関係に負うところが大きい。また、文化財の取り扱いについても、市の専門職員が立ち会うなど細心の注意が必要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	指定文化財の公開・現地解説	件	4	4	3	4	4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	公開展参加者数	人	40	35	60	50	50
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		天候により参加者の増減はあるが、常に一定数の参加者があり、好意的な評価を得ている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	成果指標の値はコース・天候により増減するが概ね一定数を上げている。市のHPなどで効果的に市民に周知すれば、参加希望者はまだ増えることが見込まれる。普段は公開されていない文化財を専門家の解説とともに見学できる貴重な機会となっており、小額の予算で市民に対して文化財などへの理解を深めることが出来ている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	指定文化財以外の文化財に加え、まちなみ・史跡なども紹介。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	文化財や史跡などを文化財保護審議会委員による現地解説つきで巡る。	
現在抱える課題とその対策	課 題	効果的な周知による新規参加者の増加と、次年の参加も希望してもらえるような内容の充実。
	対 策	市のHPに加え、facebook、LINEなど新しい媒体で周知する。実際に郷土を歩くことで、文化財、郷土の歴史を身近に感じられるようなコース設定をする。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	文化財の公開は、郷土の理解を深めるために基本的かつ有効な施策の一つであり、継続して実施すべきと考える。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	武田 克彦
(※)第2期実施計画の事業名	埋蔵文化財緊急発掘調査事業	財務会計上の事業名	埋蔵文化財緊急発掘調査事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5043 5	財務会計上の短縮番号	6675
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	個人住宅等の建築に伴い、埋蔵文化財発掘調査を行なうことで開発と文化財保護に関しての必要な資料を収集するとともに、埋蔵文化財の保護と活用に努める。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	埋蔵文化財の調査
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 60 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条、第93条、第99条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	2,783	1,722	1,245	4,706	72.3%	
主な内訳	賃金(～H30)、報償費(R1～)	856	570	123	990	21.6%
	印刷製本費	280	220	182	231	82.7%
	掘削委託料	1,370	511	608	1,820	119.0%
人件費(人・千円)	0.32 2,368	0.32 2,432	0.34 2,652	0.35 2,730	106.3%	
内訳	正職員	0.32 2,368	0.32 2,432	0.34 2,652	0.35 2,730	106.3%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	5,151	4,154	3,897	7,436	93.8%	
財源	国・府支出金	1,000	800	600	1,000	75.0%
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	4,151	3,354	3,297	6,436	98.3%	
一般財源比率 C÷A	80.6%	80.7%	84.6%	86.6%	104.8%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	掘削作業については委託で実施。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	補助的な作業。鉄器等の出土遺物の保存処理の外部委託や測量委託など。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	調査時の職員の負担の軽減。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業に伴う発掘調査件数	件	5	6	5	5	5
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	埋蔵文化財発掘届	件	51	73	52	50	50
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				開発に伴う発掘調査は、延滞もなく処理できている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				開発に伴う発掘調査は、延滞もなく処理できている。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	二子塚古墳の発掘調査を実施し、公園整備の資料を得る。	
現在抱える課題とその対策	課題	専門職員の高齢化
	対策	新規採用が必要
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	専門職員を採用する必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	武田 克彦
(※)第2期実施計画の事業名	国指定文化財管理費補助事業	財務会計上の事業名	国指定文化財管理費補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5043 6	財務会計上の短縮番号	6680
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	国指定文化財を後世に継承するため。
事業の対象 (誰を、何を)	国指定重要文化財所有者
事業の手段・方法 (どのように)	国指定文化財管理に伴う防災設備保守点検・管理修理費の補助
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 61 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第31条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		94		94		110		94		117.0%
主な内訳	補助金	94		94		110		94		117.0%
										-
人件費(人・千円)		0.07	518	0.07	532	0.07	546	0.08	624	100.0%
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.07	546	0.08	624	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		612		626		656		718		104.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	612		626		656		718		104.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	国重要文化財所有者への補助金のため、修理等があれば、実施の判断が必要であり、大阪府・所有者への協議も必要となるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	防災設備保守・管理修理	件	3	3	3	3	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		今の文化財の範囲内では対応できている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	今の文化財の範囲内では対応できている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	八坂神社の消防ポンプを修繕した際に、補助を利用し、所有者の負担を軽減した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	緊急修理がなく、昨年度よりは予算上、減額のため。	
現在抱える課題と対策	課 題	特になし
	対 策	特になし
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	対象文化財が増加する予定が無いため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 歴史民俗資料館	担当課長名	田中 万里子
(※)第2期実施計画の事業名	歴史民俗資料館管理運営事業	財務会計上の事業名	資料館管理事業 資料館運営事業
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	5043 7	財務会計上の短縮番号	管理事業 6830 運営事業 6835
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民ならびに来館者の利便性向上、及び、郷土資料の保全 池田の歴史・文化に関する資料の体系的な収集・整備
事業の対象 (誰を、何を)	市民、来館者、施設、郷土資料
事業の手段・方法 (どのように)	施設・設備の補修及び整備、郷土資料の整理及び管理 池田の歴史・文化に関する資料の購入・寄贈・寄託
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条、池田市文化財保護条例第3条、池田市立歴史民俗資料館条例、同施行規則

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,714		1,665		1,877		13,393		112.7%
主な 内訳	修繕料	292		395		288		350		72.9%
	機器借上料	156		409		507		525		124.0%
	器具費	192		153		81		435		52.9%
人件費(人・千円)		2.65	12,450	2.32	11,433	2.34	11,411	4.60	24,800	100.9%
内 訳	正職員	1.20	8,880	1.16	8,816	1.00	7,800	2.20	17,160	86.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.60	2,340	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.85	2,550	0.43	1,376	0.90	2,880	1.40	4,620	209.3%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.60	1,020	0.73	1,241	0.44	731	0.40	680	60.3%
支出合計 A		14,164		13,098		13,288		38,193		101.5%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	196		111		125		230		0.0%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	13,968		12,987		13,163		37,963		101.4%
一般財源比率 C÷A		98.6%		99.2%		99.1%		99.4%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	清掃委託、警備委託等(図書館費で予算化)
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業の根幹である収蔵資料の体系的な保存・活用、なかでも寄贈資料の受け入れは、寄贈者が資料の恒久的な保存、活用を期待し当館と当館学芸員に託して行われるものであり、アウトソーシングの導入は不可能。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	館内燻蒸作業(隔年実施)	回	1	0	1	1	0	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田の歴史・文化に関する資料の 購入・寄贈・寄託	件	26	23	11	5	5	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	収蔵資料件数	件	3,949	3,972	3,983	3,977	3,988	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		寄贈・購入等により、池田の歴史・文化に関する資料の充実を図ることができた。							
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に 実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に についても言及して記入)	寄贈・購入等により、池田の歴史・文化に関する資料の体系的整備に一定の成果が得られている。ただし、収蔵資料の充実・増加に伴い保管場所の確保・整備が喫緊の課題となっている。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における 事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	館蔵資料のデータベース化とデザイン内製化に向けて、ローカルLANとそれに伴うOA機器を導入した。	
令和元年度の取組 (平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	隣接した図書館の移転に伴う影響に留意しながら、令和元年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	昭和55年開館の施設・設備の老朽化に伴う機能更新(とくに収蔵庫と展示室の空調機)、資料保管場所の分散・不足状態の解消。
	対 策	施設・設備の修繕計画を立て維持管理を図る。旧細河小・旧図書館に保管している資料のより効率的な配架に努めるとともに、新たな保管場所についても検討を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	引き続き収蔵資料の体系的な整理に努めるとともに、データベース化に向けた作業に取り組む。また、施設・設備の機能更新、及び資料収蔵場所の整備・確保については、教育委員会・市長部局全体の動きの中で調整・検討を図っていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 歴史民俗資料館	担当課長名	田中 万里子
(※)第2期実施計画の事業名	常設展、特別展開催事業	財務会計上の事業名	常設展、特別展開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5043 7	財務会計上の短縮番号	6840
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3.ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	池田の歴史・文化に対する市民の理解と郷土への愛着を深める
事業の対象 (誰を、何を)	市民、来館者
事業の手段・方法 (どのように)	池田市域及び関連地域の歴史・文化に関する調査・研究・展示・教育普及活動
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条、池田市文化財保護条例第3条、池田市立歴史民俗資料館条例、同施行規則

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	2,631	2,604	2,788	3,028	107.1%	
主な内訳	報償金	592	620	610	765	98.4%
	印刷製本費	682	703	689	690	98.0%
	通信運搬費	920	785	1,039	1,086	132.4%
人件費(人・千円)	3.05 12,150	3.24 12,819	3.66 15,354	3.40 14,100	113.0%	
内訳	正職員	0.80 5,920	0.84 6,384	1.00 7,800	0.80 6,240	119.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0.40 1,560	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	1.85 5,550	1.57 5,024	2.03 6,496	1.60 5,280	129.3%
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.40 680	0.83 1,411	0.63 1,058	0.60 1,020	75.9%	
支出合計 A	14,781	15,423	18,142	17,128	117.6%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()	272	274	189	200	0.0%
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	14,509	15,149	17,953	16,928	118.5%
一般財源比率 C÷A	98.2%	98.2%	99.0%	98.8%	-	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	ボランティアによる展示解説
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	池田の歴史や文化、展示資料等についての知識、及び、解説のスキルを備えた展示解説ボランティアを養成することができれば、来館者へのサービスの向上が見込まれる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
指標値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	特別展の開催回数	回	1	1	1	1	1	
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	常設展・企画展の開催回数	回	4	4	3	4	3	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特別展、常設展、企画展入館者数	人	20,306	19,235	19,170	20,000	20,000	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	出前授業利用学校数	校	6	11	8	10	10	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		企画展の開催回数を調整したが、展示開催合計日数は維持され、入館者数もほぼ目標値で推移している。小学校への出前授業も実施4年目となり、学校からの見学につながっている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	地域の特色に根ざしたテーマの各種展示とその関連イベントの開催、ならびに、小学校の学習内容に対応した出前授業の実施により、市民・来館者・児童の郷土の歴史・文化に対する理解に一定の成果があったと考える。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	館外活動として、学校教育と連携した出前授業への積極的な取り組み。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き地域の特色に根ざしたテーマの展示を開催するとともに、出前授業など学校教育との連携を進める。	
現在抱える課題とその対策	課題	施設の認知度と来館者の増加につながる効果的な広報活動。学校教育とのさらなる連携。
	対策	広報活動については、HPの拡充や広報先の拡大等より効果的な方法を検討・試行する。学校教育との連携については、関係者ともに出前授業や展示内容について、検討・試行する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	調査・研究を積み重ねることにより、魅力的な展示を企画するとともに、効果的な広報活動により、来館者の増加と満足度の向上につなげる。出前授業の対象学年の拡大など、学校教育とのさらなる連携を進める。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	武田 克彦
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	歴史文化基本構想策定事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	6687
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	歴史文化および地域の文化財の総合的な保存と活用を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、各地域の歴史文化遺産
事業の手段・方法 (どのように)	指定文化財だけでなく、市や地域の大切な歴史文化遺産の保存・活用のための施策を進めるうえでの基本となる構想を策定し、本構想を文化財などに関する事業に反映させ、構想の方針の実現を目指す。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化芸術振興基本法第7条1項、池田市歴史文化基本構想策定業務事業者選定委員会規則

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)		1,944	0		0.0%	
主な内訳	委託料	1,944	0		0.0%	
					-	
人件費(人・千円)	0.00 0	0.30 1,928	0.24 1,504	0.16 888	80.0%	
内訳	正職員	0	0.22 1,672	0.16 1,248	0.08 624	72.7%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0.08 256	0.08 256	0.08 264	100.0%
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	0	3,872	1,504	888	38.8%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	0	3,872	1,504	888	38.8%	
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	専門性の高い業務のため、計画策定・改訂にあたり、コンサルタント会社へ業務を委託。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	歴史文化遺産の調査、市民へのPR
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	幅広い情報が収集できる。ただし、市の詳細な歴史や文化財については、専門的な部分が多いため、市の職員によるチェック・修正が必要不可欠である。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値	元年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	構想の策定・改訂	回	1	1	-	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	HP・広報誌などへの掲載	回	-	2	2	2	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	情報収集	回	-	-	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	事業への反映	事業数	1	5	5	4	4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				予定通り策定・改訂作業が完了、複数の事業において、当構想に基づく運用を実施することができている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となったか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				成果指標である策定・改訂も完了。また、事業への反映についても、日本遺産申請以外の、文化財関連や市史編纂などの事業を、当構想に位置づけながら展開させることが出来た。また、活動指標である情報収集についても、補助金制度や他市の事例などについての情報を収集出来た。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	本構想の方針の実現に向けて、文化財保護事業などを進めるとともに、観光に関連する事業などへの将来的な反映も目指す。併せて文化財保護法改正などと連動した情報収集を継続する。	
現在抱える課題と対策	課 題	観光等の実際の施策に反映していくためには、複数の部署・団体・市民との連携が必要となる。いかに構想の認知度を上げ、保存・活用に係る課題の共有を図ってゆけるかが課題。
	対 策	広報誌やHPなどでの情報発信、文化庁などからの情報収集。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市民の郷土への理解や愛着の涵養のため、本構想を軸に、市内外双方にむけての事業展開が必要である。	